

リーディングDXスクール事業【GIGA×指導の工夫・改善】

鳥取市立桜ヶ丘中学校（鳥取県）【指定校】

【GIGA×指導の工夫・改善】実技の時間を確保するための授業と家庭学習の連動（保健体育）

<考察>

【従来】

教師は授業の冒頭で授業で競技のルールや用語、技術的なポイントなどをすべて一括して説明していた。しかし、その競技を初めて体験する生徒は、説明内容を具体的にイメージすることができず、実技をしていく中で、個別に何度も同じ説明を繰り返す必要があった。



【現在】

新しい競技を学習する際、生徒には事前学習として家庭で、競技の動画を見たり、教科書やWeb等で調べ、「用語」・「ルール」・「技術的なポイント」等についてまとめ、電子データでまとめたものを学習支援ソフトに提出する形にした。この取り組みにより、生徒は授業前に競技の具体的なイメージを持つことができるようになったため、教師は全体説明を最小限に抑え、重要項目に焦点を絞った指導が可能となり、生み出した時間を実技時間に充てることができた。

【成果】

7月と12月に実施した授業アンケートの比較によると、「授業の内容が分かる」の肯定的評価が7月の93.2%から12月には95.0%に上昇し、この取り組みが生徒にとって実感を伴う学びとなる1つの要因になっていることが考えられる。

保健体育

【家庭】ハードル走の「用語」・「ルール」・「走るポイント」などを各自まとめ、学習支援ソフトに提出する



【授業】生徒が事前に用語・ルール・技術的なポイント等を把握していることで、教師は重要事項のみに絞って説明することができ、説明時間を短縮し、実技の時間を十分に確保する